コロンビア定期報告（９月の経済）

　９月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

１．ポイント

●13日，2017年会計年度（1～12月）における国家予算限度額（224.4兆ペソ）が経済委員会で承認された。

●17日，ボゴタメトロ計画がサントス大統領及びペニャロサ・ボゴタ市長によって最終的に承認された。

●21日，国家インフラ庁（ANI）は，第１期の第４世代道路網整備プロジェクト（４G）に係る10のプロジェクトへの出資等に関する合意が最終的に関係者間で締結された旨発表した。

２．本文

＜国内情勢＞

（１）経済見通し（17日，当地紙報道）

　17日，コロンビア中央銀行は，第2四半期の実質GDP成長率が2%に留まったこと，製造業の生産力低下，原油採掘量の下落，及びエネルギー需要の低下を踏まえ，2016年のコロンビアの経済成長率を2.25%以下に据え置く一方，経済協力機構（OECD）は2.4%，Fedesarrollo（シンクタンク）は2.3%，全国金融機関協会（ANIF）は2.2%にそれぞれ下方修正した。

（２）国家予算限度額の決定（14日，当地紙報道）

　13日，2017年会計年度（1～12月）における国家予算限度額が経済委員会で承認され，国家予算限度額は224.4兆ペソ（約763億ドル，負債分も含む。）と定められた。なお，同予算額は2016年会計年度予算と比べ，6.6%増となっている。

（３）ボゴタメトロ計画（19日及び20日，当地紙報道）

　17日，ボゴタメトロ計画がサントス大統領及びペニャロサ・ボゴタ市長によって最終的に承認された。同計画の予算は，9.6兆ペソ（約33.1億ドル）確保されており，そのうちの70%が政府，残り30%がボゴタ市から支出される。また，本計画における工事工程は，ボゴタ市南西部のEl portal de las Americasからボゴタ市中部のAv. Caracas，Av. Caracasからボゴタ市中部のLa calle 72，La calle 72からボゴタ市北部のLa calle 127の3つに区分されている。ボゴタメトロの路線距離は，全長30.58キロメートルになる見込みである。

（４）第４世代道路網整備プロジェクト（４G）（21日，当地紙報道）

　21日，国家インフラ庁（ANI）は，第１期の第４世代道路網整備プロジェクト（４G）に係る10のプロジェクトへの出資等に関する合意が最終的に関係者間で締結された旨発表した。決済総額は約12兆ペソ（約41億ドル）と見積もられている。本プロジェクトによって，特にカウカ県及バジェ県に対しての経済効果が見込まれている。第１期のプロジェクトにおいては，アトランティコ県バランキージャ市とボリーバル県カルタヘナ市，クンディナマルカ県ボゴタ市とコロンビア東部の平原地帯との幹線道路が整備される予定である。

（５）運送業者のストによる製造部門への打撃（16日，当地紙報道）

　16日，国家統計庁（DANE）は７月に発生した運送業者によるストの影響により，製造部門の生産力が，前年同月比＋0.9％であったのに対し，▲6.2％を記録した旨公表した。

（６）アルコール関連法案（22日，当地紙報道）

　22日，上院議会はアルコール関連法案の採決を延期することを決定した。ワインなどの発酵酒はアルコール度数が蒸留酒よりも低く，健康を害する恐れが少ないこと，及びアルゼンチンやチリなどのコロンビアにおけるワイン主要輸入国からの反発があったため，同法案におけるワインに対する課税内容を修正すると見られており，採決が繰り越されることとなった。また，カルデナス財務・公債大臣は｢本法案は課税の適正さ，各自治体企業の保護，税収増加及びアルコールの過剰摂取に抑制を効かせることを目的としているものである｣旨述べた。

＜対外経済関係＞

（１）対OECD関連（2日及び27日，当地紙報道）

　 全国金融機関協会（ANIF）及び国家企画庁（DNP）によると，和平合意は経済的好影響をもたらすだけでなく，コロンビアのOECD加盟を後押しすることになるとの見通しを発表した。また，サントス大統領は，2017年上半期中にはOECD加盟手続きを終了するとの見通しを示した。

＜経済指標＞

（１）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

　7月の実質工業生産指数（加工コーヒー豆を除く）は前年同月比▲6.2％であった。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

　7月の実質小売売上高指数は前年同月比▲3.3％であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

　8月の消費者信頼感指数（ICC）は，▲6.6 ％と前月（▲14.9％）を8.3ポイント上回り，前年同月比では6.2ポイント下回った。

（２）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

　8月の石油生産量は日量82.7万バレルであり，前年同月比▲14.5％となった。

（イ）コーヒー

（ⅰ）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

　FNC加盟コーヒー生産者による8月のコーヒー生産量は118.9万袋（1袋＝60kg）となり，前年同月比▲5.93％となった。

（ⅱ）価格（国際コーヒー機関発表）

　9月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド＝1.69ドル（前月は同1.61ドル，前年同月は同1.36ドル）であった。

（３）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

　8月の消費者物価上昇率は▲0.32％，生産者物価上昇率は▲1.13％であった。

（イ）雇用

　8月の全国平均失業率は9.0％と，前年同月の9.1％より0.1ポイント改善した。また，主要13都市の平均失業率は9.9％と，前年同月の9.9％と同水準であった。

（４）貿易収支（DANE発表）

　7月の貿易収支（FOB）は，10.01億ドルの赤字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比▲27.1％の21.89億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比▲32.9％の31.95億ドルとなった。

（了）